



早期の落果防止剤散布は絶対にやめましょう！

これから早生種の落果防止剤の散布時期を迎えますが、「極端に早い散布」は肥大を鈍化させるばかりか、時期的に低温に遭遇し難いため、着色が進まず熟度ばかりが進み、果肉の軟化や油上がりなど品質低下の原因となります。また、今後1ヵ月の予報では気温の高い日が多い予想となっていますので、着果量が多い場合には着色が進まないことが想定されます。さらに、高温の影響により今年の『つがる』は酸度が低い傾向にあり、鮮度を保つための力が不足しています。

着果量の多い園地では今一度見直し摘果を行い、ストップール適期散布とすぐりもぎの徹底により品質の良いりんごを生産しましょう！

1. りんごの肥大状況(8/2調査) → 平年並~やや上回り、良好に推移しています。

(cm)

調査地点/品種	つがる	ジョナ	王林	ふじ	ひろさきふじ	トキ	備考
藤崎	7.2	6.6	6.2	5.8	7.1	6.9	生育観測地点 藤崎管内：五林地区 和徳管内：津賀野地区 ※平年は当組合の平年値
和徳	7.3	7.0	5.9	6.4	-	-	
J A管内平均	7.3	7.0	6.4	6.3	6.8	6.7	
平年	7.1	6.9	6.3	6.1	6.8	6.8	

まだ着果量が多い園地が多いよ~！
見直し摘果はまだ間に合うからもうひとスグリ頑張ろう！



2. 薬剤散布

散布回数	散布時期	対象病害虫	基準薬剤及び調合順序	1000L当たりの調合量
11 8月上旬 500L/10a	8/1頃	褐斑病・炭そ病・すす点・すす斑病 モモンクイガ、アブラムシ類、ハダニ類	ダイパワー（水） 1,000倍 アブゾアード（顆水） 4,000倍 コロマイト（乳） 1,000倍	1袋（1kg） 1袋（250g） 2本（1ℓ）
12 8月中旬 500L/10a	8/16頃~	すす点・すす斑病・炭そ病・褐斑病 ハダニ類・モモンクイガ	アーデント（F） 2,000倍 アリエッティC（水） 800倍	2本（500ml） 1袋（1.25kg）
13 8月下旬 500L/10a	8/31頃~	すす点・すす斑病・炭そ病・褐斑病 ハダニ類・モモンクイガ	ダイパワー（水） 1,000倍	1袋（1kg）
特別散布 500L/10a	9/16頃~	黒星病・すす点すす斑病	ストライド（顆水） 1,500倍	2袋（666g）

散布終了！

●ビターピット対策にカルシウム散布を！

『王林』のビターピット発生要因の1つとして、満開後の積算気温が高い年ほど発生率が高いというデータがあります。

今年は、6月~7月の積算気温が平年に比べ高めに推移しており、今後1ヵ月予報でも気温が高い予想が出ていることから、王林の植栽されている園地では散布薬剤に「カルマツチ」を加用して散布しましょう！（9月中旬の特別散布まで残り3回すべて加用）

3. 早生種の落果防止剤の散布について → 早期散布は絶対ダメ！

今年は、6~7月の気温が平年より高めに推移したことから酸度が低い傾向にあります。このような状況で落果防止剤を早期散布すると、肥大が抑えられるばかりでなく、鮮度の低下や着色難など品質低下につながる可能性が高まります。ストップールの散布時期をきちんと守り、高品質なりんごを生産しましょう。葉摘みはストップール散布5日後、陽光面が着色し始めたら行いましょう。

品 種	ストップール散布デー	使用方法
未希ライフ 早期着色系つがる	8月15日	・倍 数 1,000倍 ・散布量 350~400L/10a ・散布回数 1回 ・単用散布・展着剤不要
きおう・サンつがる 葉取らずつがる	8月20日	

今年は1回目のすぐりもぎを早めに行うのもポイントだね！



◎ワンポイント！

りんごは葉で温度調節を行なっていることから、強い葉つみを行うと葉が少なくなり日焼け果が多くなってしまいます。そのため、ストップール散布後に高温が続く場合は、葉摘みよりつる回しを優先して行くと、日焼け果の減少につながります！

4. 適期収穫でおいしい『きおう』を！ → スグリモぎの徹底を！

『きおう』も『つがる』同様に、酸度が低い傾向にあります。

このままで推移すると、着果量の多い樹はカチンコの多発と食味低下が懸念されます。もう一度見直し摘果を行い食味の良い『きおう』を生産しましょう。

また、きおうは「スグリモぎ」が必要な品種ですが、生産量が少ないため「ガラもぎ」になりがちです。色値指標やカラーチャートを利用した適期収穫により、鮮度の高いきおうを生産しましょう！

- 藤崎支店 神 幸人 (090-6220-9279)
鳴海 清志郎 (080-9335-0829)
佐藤 琉乃介 (090-7529-5883)
- 和徳支店 佐藤 慎 (090-3753-6333)
- 中央支店 泉 荘 (080-6011-5366)

営農関係でのご質問・相談等がございましたら、担当者へ連絡下さい！